

単元まるごと計画「^{ようび}すきな曜日は なにかな」（全3時間）

単元のゴール（can-do）：曜日の言い方に慣れ親しみ、すきな曜日とその理由をたずね合うことに慣れ親しむ。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	曜日の言い方と、What day is it? / I like ○○. のやり取りに慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	自分の生活をふり返って、すきな曜日を理由とともに伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	友だちの生活と自分の生活をくらべながら、すすんで曜日についてたずね合おうとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全3時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	－	曜日のことばと出会う（曜日ソング・漢字のイメージカード）	曜日ソング	記録なし
2	－	曜日ならびかえ→きょうは何曜日？（What day is it? の帯へ）	曜日ソング＋ポインティング	記録なし
3	－	すきな曜日インタビュー（理由つき）→クラスの曜日ランキング	曜日ソング	◎ 行動観察＋振り返りカード点検



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・曜日ソング	—（Let's Try!付属音源）
5-12	ようびカードで練習	ようびカード
12-15	めあての確認	—
15-37	主活動（シート1〜3）	活動シート1〜3
37-45	振り返り・あいさつ	ふりかえりカード

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. ならびかえ（活動2）は1回でよい（2回戦はすきま時間の宝物に）
- 2. ランキングの集計は挙手で簡単に（棒グラフづくりまではやらない）
- 3. Tuesday / Thursday の言い分けは深追いしない（聞いてわかればOK）

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ ようびカード（提示用1部+ならびかえ用に班数分）
- ☐ 活動シート1・3（人数分）+シート2（先生用・1部）
- ☐ ふりかえりカード（1人1枚・単元を通して同じ紙）
- ☐ ALT打ち合わせシート（ALT来校日に）

配慮が必要な子へ

- ・曜日の順番があいまいな子もいる（学年相応）。カードの漢字のイメージ絵がヒントになるので、絵つきのまま活動してよい
- ・「好きな曜日がない」子には「きらいじゃない曜日でもOK」と幅を出す（習い事などで曜日にストレスがある子への配慮）
- ・理由は日本語でよい。英語で言えたらすごい、の位置づけ（理由の英語化を求めると全員が止まる）

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・絵カードは漢字を思い出すイメージ絵。種明かしは「日＝太陽・月＝つき、火水木金土は火星・水星・木星・金星・土星（七曜）」まで。英語の曜日と同じ七つが由来で、Sunday＝Sun・Monday＝moon の日（「英語にも月が入ってるの!？」）
- ・What day is it? は帯に固定して、単元後も日直の仕事にすると1年中生きる
- ・I like Mondays. の複数形 -s は説明しない（音のまま）。理由を聞く「Why?」も日本語で「なんで?」でよい
- ・◎見取りは第3時「好きな曜日を理由とともに伝えようとしているか」（理由は日本語でOK）